

リテラシーとコンピテンシー ～クリティカルに大らかに～

昨年12月、53期生(当時2年生)は、神奈川県教育委員会の令和4年度抽出校指定により、ジェネリックスキル(汎用的能力)としてのリテラシー(思考力、判断力、表現力)とコンピテンシー(主体性、多様性、協働性)に関するアセスメントテストを受けました。(残念ながら、抽出校指定は毎年変わります。)

このテストのガイドブックによれば、リテラシーは、「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力(※1)」「構想力」「表現力」「実行力」の6つの力で構成されており、そのうちペーパーテストで測定できる領域は、「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」の4つの能力要素となっています。

コンピテンシーの方は、「対人基礎力(親和力、協働力、統率力)」「対自己基礎力(感情制御力、自信創出力、行動持続力)」「対課題基礎力(課題発見力(※2)、計画立案力、実践力)」となっています。リテラシー、コンピテンシーの双方に「課題発見力」がありますが、※1は「論理的に思考をめぐらせ課題を見つけ出す力」、※2は「課題を発見するために必要な行動スタイル」ということです。個々の能力を伸ばすための実行ポイントも示されており、次のとおりです。(下線、☆は布川)

まずは、リテラシーから。

- 情報収集力…様々な情報源を活用する。情報の信頼性を確認する。情報を集めに出かけたり、人に会ったりする。
- 情報分析力…表やグラフから読み取れることを言葉にする。資料を要約する。情報を鵜呑みにせず様々な観点から検討する(☆1)。
- 課題発見力…困っていることを書き出す。やるべきことを整理する。「なぜ？」を5回繰り返す(☆2)。
- 構想力…行動計画を作成する。リスクを想定する。具体的に計画する。

続いてリテラシーです。

- 親和力…困っている人に声をかける。相手と自分の共通点を見つける。自分と異なる意見こそじっくり聞く。
- 協働力…納得いくまで話し合う。ボランティアをする。ポジティブな言葉を使う。
- 統率力…人の話をさえぎらないで最後まで聞く。自分の意見を述べるときはメモを作る。(布川)メモ:読み上げ原稿ではない。)イラっとしたときこそ笑顔でいる。
- 感情制御力…キレちゃったら、謝る。ストレス解消法を持つ。一緒に考えてくれる人、解決を手伝ってくれる人を探す。
- 自信創出力…自己理解について、他人と話し合う。学ぶ機会を自分から作る(☆3)。 どんな仕事や役目も自分で工夫して楽しむ(☆4)。
- 行動持続力…日々、「もう1ミリ」頑張る。やると決めたことを周囲に宣言する。前向きな振り返りを習慣にする。
- 課題発見力…授業でわからなかったことを深掘りする(☆5)。フィールドワークする。原因と解決策を考える。
- 計画立案力…学習目標を具体的に立てる。達成するまでの道のりを考える。「想定外のことが起こる」前提で考える。

- 実践力…宿題や課題は「準備だけ」はとりあえずやる(☆6)。(布川：結果的に宿題や課題をやることになる。) うまくやり遂げたときのイメトレをする。「もっとよくなるはず」と思って取り組む。

さて、ここで下線を付した☆印に触れておきます。

- ☆ 1、2、5…前号のテーマ、「クリティカルシンキング(批判的思考)」のことです。
- ☆ 3、4…【「二兎を追う者は一兎をも得ず」とは考えない。三兎、四兎を追う相乗効果で「個」を大きく育てる。】と同じことです。
- ☆ 6…勉強ではこれを実践できなかった私ですが、仕事ではこれに通じることをしています。未処理の仕事を「重要か否か」「緊急か否か」の掛け算により、4種に分類します。「重要かつ緊急」、これはやるしかありませんが、「重要ではないが緊急」、これも「緊急」だと思えば「重要」だと錯覚してしまい、つい時間をかけてしまいます。「重要でも緊急でもない」、これはやらない。したがって、人は皆、「緊急」に追われていることになります。そして、緊急に追われていると「重要だが緊急ではない」ことに時間を割けなくなります。私は、「重要だが緊急ではない」ことに時間を割き、大方仕上げ、折に触れて見返します。見返すたびに改善ポイントが見つかり、精度を上げていきます。本来、「重要かつ緊急」とは「突発の重要案件」のことですので、「重要だが緊急ではない」ものを放っておいて「重要かつ緊急」にしてしまえば、時間に追われ、満足な対応ができなくなります。皆さん、**「重要だが緊急ではない」勉強に時間を割きましょう。**

次に本校の結果から、資料には掲載されていない平均点を出してみました。絶対評価の世の中で、平均点が意味を持つ場面は少なく、皆さんがお持ちの個人データにもその欄はないでしょう。ですから、ここでも平均点は発表しません。にもかかわらず、平均点を出したのは、各能力要素を平均点順に並べることで本校生の傾向がわかりはしないかと思ったからです。まず、リテラシーですが、「①情報分析、②情報収集、③構想、④課題発見」の順でした。続いて、コンピテンシーです。「①協働、②親和、③統率、**課題発見**、実践、⑥行動持続、⑦計画立案、⑧感情制御、**自信創出**」と出ました。絶対評価ですから、リテラシーの「課題発見」、コンピテンシーの「感情制御、自信創出」が低いわけではなく、他の能力要素よりは平均として低かったというだけです。(53期生は個人データを重視してください。)

そうは言っても、気になるのはコンピテンシーにもある「課題発見」です。二つの「課題発見」がどう違うかは冒頭に書きましたが、「課題を発見するために必要な行動スタイル」というコンピテンシーが、「論理的に思考をめぐらせ課題を見つけ出す力」というリテラシーにつながるはずがありません。そのところは皆さんも私たち教師陣も意識して、意図的に取り組んでいきましょう。そして、「**自信創出**」。**【自分を信じて勉強し続けた現役生が大きく伸びるのは年明けです。最後の模試でも、ほとんどの場合、いい結果は出ません。しかし、大きく伸びるのは、最後の模試が終わってからです。焦ることなく、自分を信じて、「意図的な勉強」を続けてください。大丈夫、自分を信じて、必ずうまく行く。】**

【】内は、前号の最後に書いたことです。「自信」は極めて重要です。繰り返しになりますが、絶対評価ですから、「自信」の平均値が低いわけではありません。ただ、**«もっと「自分を信じて」いいんだよ。»**ということです。

最後に、途中で確認したことの再確認です。クリティカルシンキング印の☆1、2、5。2と5は「課題発見力」です。能力伸長印の☆3、4、これは「**自信創出力**」です。**皆さん、クリティカルに大らかに勉強してください。**

さあ、银杏祭です。存分に楽しみ、大いにジェネリックスキル(汎用的能力)としてのリテラシー(思考力、判断力、表現力)とコンピテンシー(主体性、多様性、協働性)を発揮し、伸ばしてください。